

金沢市協働のまちづくりチャレンジ事業 成果発表会 【一般部門】

団体名：重症児・医療的ケア児相談事業

さくらんぼすまいる

事業名：

みんなで安心をひろげる相談事業

～すべての親が

しあわせな子育てのできる社会へ～



① 団体紹介

2020年12月設立、協働3年目
しょうがい児の親を中心とした
活動メンバー15名。
月1回のグループ相談会を軸に
勉強会や親子イベント等を実施。



団体理念

「しょうがいの有無にかかわらず、
すべての親が
しあわせな子育てのできる社会」
をめざして活動。



② 事業概要

(1) グループ相談会の実施

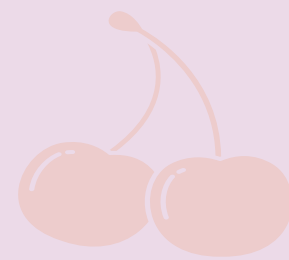
デイサービス等の施設見学も兼ねた相談会、市の保健師も参加
保護者へ情報を届け、支援につなげていく



4月：キッズFit森本見学会



7月：石川療育センター見学会



「障がいのある子」のことを知らない
地域の方々ともつながりを持ち、知ってもらえるように

10月 野々市子ども食堂「ちきそらごはん」とコラボ開催



「障がいのある子、嚥下の難しい子、
どんな子もみんな子ども食堂に来てほしい」
(ちきそらごはん主宰 畠山さんの言葉より)



近所のひなの家訪問看護の方も参加

(2) 防災について

① 個別避難計画作成について意見交換会



作成方法や進め方、要支援者の把握などについて
協力体制を作るため、意見交換を実施

(4月、7月)

参加団体： 金沢市福祉政策課、障害福祉課
いしかわ医療的ケア児支援センター
このこの
石川県肢体不自由児協会
石川県重症心身障害児を守る会
いしかわ医療的ケア児・障害児家族
グループPareTTe

② 5月「石川トヨペットカローラ モビリティパーク金沢」にて非常用電源についての防災勉強会



▶ 実際にやってみて初めてわかったことが多々あった

コンセント
どこ?

バッテリー
大丈夫?

医療機器の
電力は?

③ 防災デイキャンプの実施

- ▶ 能登半島地震による防災意識の高まり
地震当日、車中泊を経験した家族も。
停電・断水時の医療的ケアはどうなる
のか？体験して学ぶ。
- ▶ 会場は基本的に屋内でエアコン完備、
看護師も参加し安全性も確保。
- ▶ 会場の工房シティ職員、および利用者
(障害は軽度)も一緒に参加することで、
さまざまな方と過ごす課題も探る。

協働のまちづくり
チャレンジ事業
(金沢市委託事業)

さくらんぼすまいる

防災デイキャンプ

～ふだんのケアは災害時どうなる？～

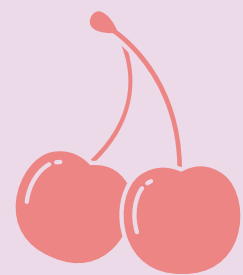
参加親子募集



2024.9.28(土)
11:00~14:00

会場 / 工房シティ (金沢市粟崎)

参加対象：医療的ケア等のサポートが
必要なお子さんを含む親子10組



たくさんの団体に連携・協力をいただきました

- ▶ 共催：あおぞら福祉会 工房シティ
いしかわ医療的ケア児支援センターこのこの
- ▶ 協力：北良株式会社、石川県重症心身障害児(者)を守る会、
石川県肢体不自由児協会、
いしかわ医療的ケア児・障がい児家族グループPareTTe、
石川県立看護大学防災ボランティアサークルふたば
- ▶ アドバイザー：笠井 健氏（北良株式会社代表取締役社長）

東日本大震災で医療機関などの災害支援をした経験から、医療的ケア児の親子の防災教室など地域の社会貢献活動に取り組み、能登半島地震でも発災直後から能登で支援活動を行う。



テーマ：「普段のケアは災害時どうなる？」

災害時を想定したブースをまわり、ふだんのケアをやってみよう

大きさの違う3台の車中で
温度や暗さを体感

車中泊体験

せまい車中で
注入や着替え
電源確保も



トイレ体験

テントやポンチョで
トイレ、できる？

※ 座るだけの
体験となります



展示協力：北良株式会社

避難所環境

ダンボールベッド
に寝てみよう
電気を使わない
吸引器も体験



シートを使った移乗体験



ベッド協力：県立看護大学

少ない水で

器具の洗浄や
口腔ケア、
工夫してみよう



県立看護大学防災ボランティア
サークルふたばの皆さんが、
嚥下食メニューの考案から当日
調理まで担当



災害時の食事

備蓄や配給される
食材で、
停電・断水を想定
した嚥下食作り



参加者の昼食も
水で作れる非常用おにぎり

協力：石川県重症心身障害児を守る会

体験後はアドバイザーの笠井さんを中心に、全員で意見のシェア会
情報と防災意識を共有しました



来年度も実施企画中です



(多橋カメラマンありがとうございました!)


(3) 「医療的ケアやサポートが必要な子の子育て ハンドブック」について



R5データ作成、R6年6月、1,500部印刷
7月より配布を開始

11月、ハンドブック周知イベントを実施

ハンドブックとともに支援の要となる
「金沢市医療的ケア児等コーディネーター」
の周知も兼ねる。27名参加。



協働のまちづくり
— チャレンジ事業 —
(金沢市委託事業)

医療的ケアやサポートが必要な子の子育て ハンドブック、知ってますか？

さくらんぼすまいると金沢市障害福祉課が作った子育てハンドブックを
もっと知ってほしい！活用してほしい！
皆さんに身近に感じてもらうためのイベントを開催します

日時：2024年11月13日(水)13:00~15:00
(途中入退室OK、別室ケアルームあり)
会場：石川県リハビリテーションセンター 4階研修室
〒920-0353 金沢市赤土町二13-1 (済生会病院となり)
参加対象：医療的ケアやサポートが必要な子、そのご家族・支援者
(※支援者さんは基本的にオブザーバー参加となりますのでご了承ください)

金沢市
医療的ケア児等コーディネーター
さんとお話したい・つながりたい！



金沢市障害福祉課より
医療的ケア児等コーディネーター制度
についての説明と、コーディネーターさんから
活動や相談事例についてお話いただきます

ハンドブックについて
もっと知ろう！
(当日配布あります)

後半
さくらんぼすまいるから
ハンドブックについての説明と
疑問・質問、みんなで一緒にお話しましょう
(聞くだけ参加も大歓迎です！)

お申込みはこちらのフォームから ▶
(申込〆切：10月31日)

お問い合わせ：さくらんぼすまいる ✉ sakuranbo.smile.kanazawa@gmail.com
Instagram: sakuranbo_smile
金沢市障害福祉課 076-220-2289



(石川県リハビリテーションセンターにて)

周知イベントの反響

翌日新聞に掲載



県議会議員の方へ情報が届き、病院に配布交渉してくださった



県立中央病院
金沢医療センター
小児科での配布につながりました！

③ 事業の成果 (メンバーや参加者のアンケートより)

(1) 相談会について

多彩な団体とコラボ

🧡 施設見学では保護者の相談支援につながったり、施設側に支援の課題をお伝えすることもできた。


🧡 トヨペットカローラや子ども食堂など、これまでつながりのなかった地域の方々に障がいのことを知ってもらい、発信することができた。


🍀 知名度が上がりコラボ要請が増えたのは嬉しいけれど、当初の小ぢんまりとゆったりとした相談会が少なくなった。


(2) 防災について


- ♥ 非常用電源の勉強会では、保護者だけでなく支援者の参加も多く、送迎や預かりに関わる方にも知識を得ていただけてよかった。
- ♥ 個別避難計画作成デモ動画や、防災キャンプのレポートおよび当日業者により撮影した動画（このこの主催）は今後、支援者の研修や保護者・地域の方の勉強会にも活用していく予定。
- ♣ 防災キャンプは、たくさんの体験ブースを盛り込んだため、ケアの必要な子とまわるには時間が足りなかったとの意見があったので、来年度はテーマを絞っていききたい。
- ♣ 今後も防災について継続的に勉強会などを開催したい。

(3) ハンドブックについて

 印刷・配布が叶い、病院でハンドブックをもらった、という声も聞かれるようになり、当初のいちばんの目的が果たせてよかった。

 来年度も印刷予算の目処が立ったので、さらに必要な方に届くよう奔走したい。

 支援施設や病院への配布についてのルール（担当者、ルートや在庫がなくなったときの連絡方法など）を確立する必要性

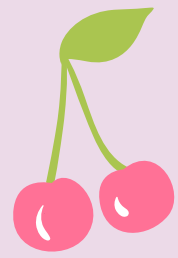
 県の施設（県リハ、このこのなど）と連携する機会も増えたので、今後は金沢市だけでなく他の市町のハンドブックもできてほしいし、その際にはぜひお手伝いしたいと思います。

④ 市との協働、今後の展望について

来年度より

♡ 金沢市障害福祉課の委託事業となります。
(いろいろ楽しい企画をしています！)

♡ さらに防災キャンプなど他のイベント資金面では、
「石川県重症心身障害児を守る会」
「石川県肢体不自由児協会」
「いしかわ医療的ケア児支援センターこのこの」
などと協力し合うことにより資金提供をいただくこととなります。



さくらんぼすまいるがお伝えできること

(助成金などについては、サポセンの皆さまのほうがお詳しいと思うのでお聞きいただくとして…素人な私たちがやってきたこと)

▶▶ これからチャレンジ事業を「始めたい」みなさまへ

♡ 「協働」は「双方に利のある関係」がベストだと思っています。
お互いの立場を思い尊重し、両想いであってほしいです

▶▶ これからも事業を「継続したい」みなさまへ

♡ 来年度以降を見据え、今年度のうちから今後協力を仰げそうな団体と、できるだけ多くコラボしてみる。(資金力はもちろんですが、理念や方向性、相性の合うところ)

ご清聴ありがとうございました！

3年間、協働課の皆さん、協働推進課やサポセンの皆さん、
「さくらんぼすまいる」の成長を促していただいたこと、
あたたかく見守っていただいたこと、
本当に感謝しかありません。
皆さんとの出会いに、心より、ありがとうございます！！

重症児・医療的ケア児相談事業さくらんぼすまいる